

トップメッセージ



代表取締役社長

木村 有仁

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の経営成績

当期の世界経済は、米国において雇用情勢の改善等により個人消費が底堅く緩やかな回復が続きましたが、欧州では依然として停滞が続き、中国や新興国では減速の傾向が見られました。日本経済は、消費税率引き上げによる影響があったものの、年度後半からは緩やかな回復基調となりました。また、当社を取り巻く事業環境においては、半導体・フラットパネルディスプレイ向けの需要が堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社はお客様との関係強化に努め、積極的な拡販、新製品の開発、コスト削減に取り組み、円安による効果もあり、当事業年度の売上高は、16,863百万円、営業利益は506百万円、経常利益は677百万円、当期純利益は540百万円となりました。

今後の見通し

世界経済は、欧州や中国、新興国では先行き不透明感がありますが、米国ではドル高や金融政策の影響が懸念されるものの個人消費主導の底堅い成長が見込まれており、日本経済は、個人消費や企業収益の改善による設備投資の増加により回復が続くと期待されております。また、当社を取り巻く事業環境においては、半導体・フラットパネルディスプレイ向けの需要が引き続き堅調に推移する見込みです。

このような状況のもと、当社は、市場や市況の変動による影響を最小限に留め、安定的に利益を生み出す事業基盤の構築に向けた、全社的なコス

ト削減に取り組むとともに、原価の変動に見合った適正な販売価格を維持し、収益性の向上に努めてまいります。

事業部門別の課題として、感光性材料事業では、今後も需要の拡大が見込まれるArFエキシマレーザー用レジスト向け感光材及び光酸発生剤(PAG)ならびに電解液・イオン液体を中心に、営業部門と研究部門の連携をより高めることで、お客様のニーズを的確にとらえ、競争力のある製品を提供する仕組みを構築してまいります。

化成事業では、グリーンケミカル部門においては、高純度溶剤の拡販、及び西日本地区の需要開拓を第一の課題と考えております。また、香料材料部門は、欧州市場での新規顧客開拓を精力的に進め、製品群の拡充及び拡販に努めてまいります。ロジスティック部門は、日本での化学品物流の主要拠点となりましたが、さらなるサービスの拡充に努めてまいります。

当社の2016年3月期の業績は、売上高18,100百万円(前期比+1,236百万円、+7.3%)、営業利益890百万円(前期比+383百万円、+75.7%)、経常利益700百万円(前期比+22百万円、+3.4%)、当期純利益490百万円(前期比△50百万円、△9.3%)を計画しております。

2015年3月期の期末配当は、3月末時点の株主様に対して、1株当たり普通配当6円、及び60周年記念配当6円の合計12円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

売上高	16,863百万円
営業利益	506百万円
経常利益	677百万円
当期純利益	540百万円

■当期のポイント

- POINT 1** 感光性材料事業は、半導体・液晶関連の需要増加のもと、積極的な拡販や、新製品の開発、コスト削減に取り組み、さらに円安効果も加わり、大幅増収増益。
- POINT 2** 化成品事業において、香料材料部門は、海外向け販売が堅調に推移。工場稼働率向上により損益も改善。グリーンケミカル部門も増収、損益も改善。
- POINT 3** ロジスティック部門は、法定タンク工事を行うも、業績影響は僅か。タンク契約率を高水準で維持。

貸借対照表ハイライト

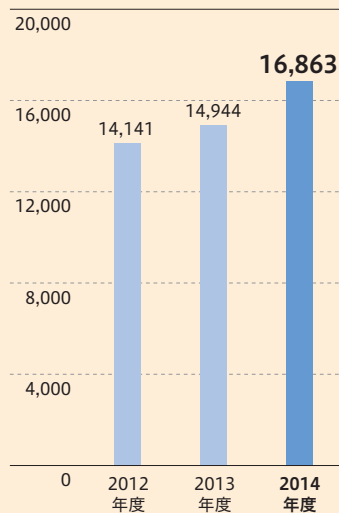
(単位：百万円)

科目	前期 平成26年3月31日	当期 平成27年3月31日
流動資産	9,626	10,754
固定資産	19,233	17,894
資産合計	28,859	28,648
流動負債	12,306	11,622
固定負債	10,686	10,500
負債合計	22,992	22,122
純資産	5,867	6,526
総資産	28,859	28,648

業績概要 *今期より非連結開示となっております。

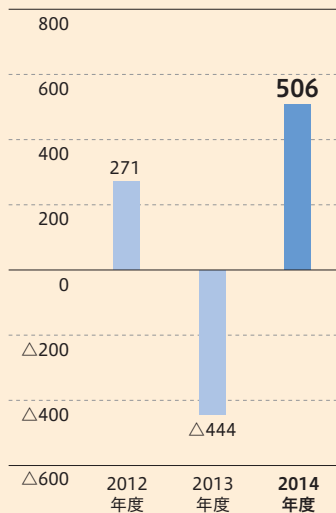
売上高

(単位：百万円)



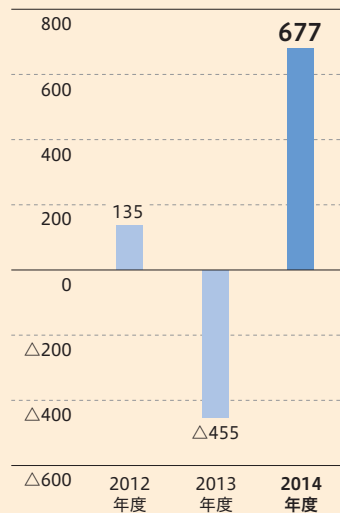
営業利益

(単位：百万円)



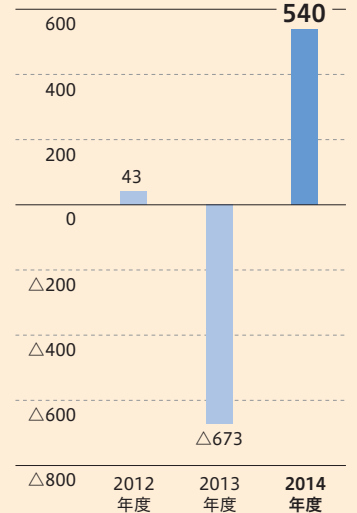
経常利益

(単位：百万円)



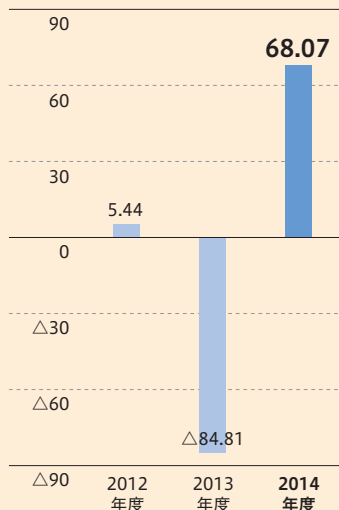
当期純利益

(単位：百万円)



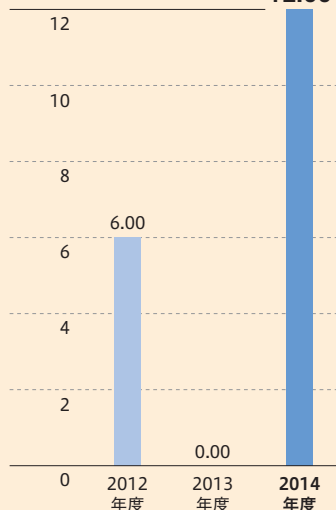
1株当たり当期純利益

(単位：円)



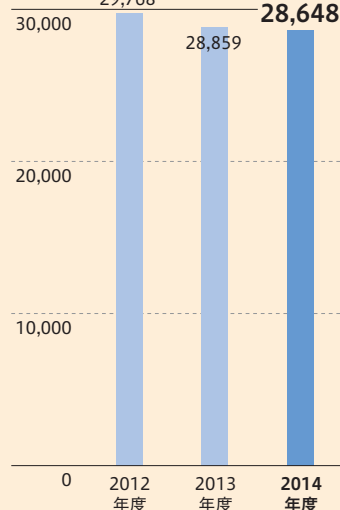
1株当たり配当金

(単位：円)



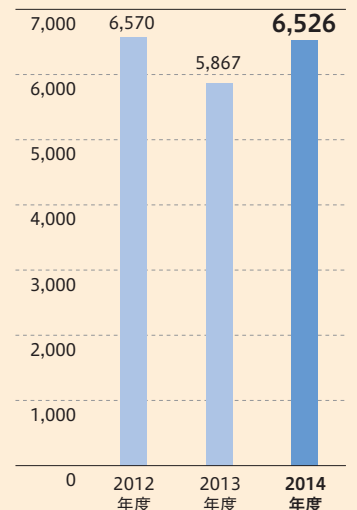
総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



感光性材料事業

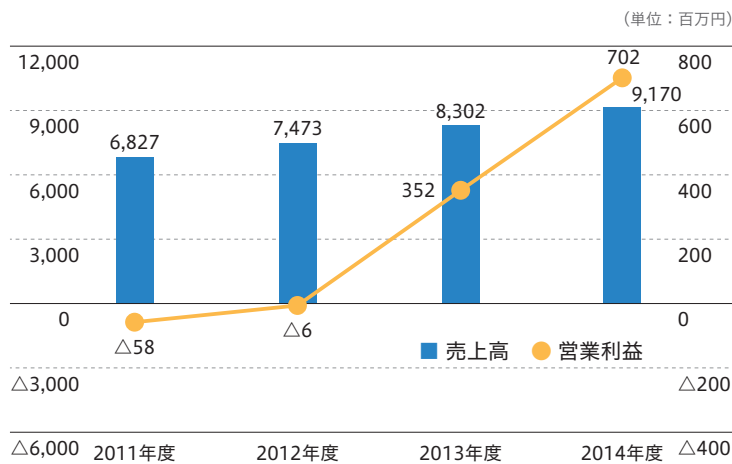
業績の概況



半導体向け感光性材料は、スマートフォン、自動車、LEDなどの需要が好調でした。液晶用途向け感光性材料も、スマートフォン、高精細テレビ、車載LCDなどの需要が堅調でした。感光性材料事業全体としては、円安効果も加わり、前年を上回り好調に推移しました。

以上の結果、売上高は9,170百万円(前年同期比+867百万円、+10.4%)、営業利益は702百万円(前年同期比+349百万円)と大幅増収増益となりました。

売上高及び営業利益の推移



*今期より非連結開示となっております。

化成品事業

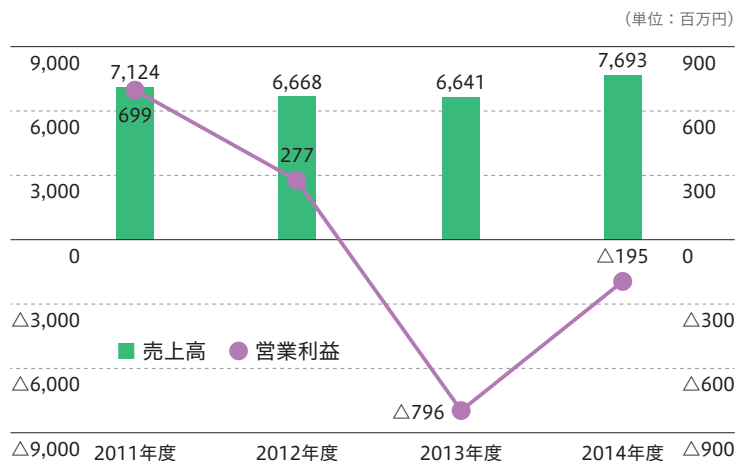
業績の概況



香料材料部門は、海外向けが堅調に推移しました。グリーンケミカル部門は、半導体・フラットパネルディスプレイ向けの需要が好調でした。ロジスティック部門は、法定工事等があったものの、顧客満足度の維持・向上に努めた結果、タンク契約率を高水準で維持しました。

以上の結果、売上高は7,693百万円(前年同期比+1,051百万円、+15.8%)、営業利益は△195百万円(前年同期比+601百万円)となりました。

売上高及び営業利益の推移

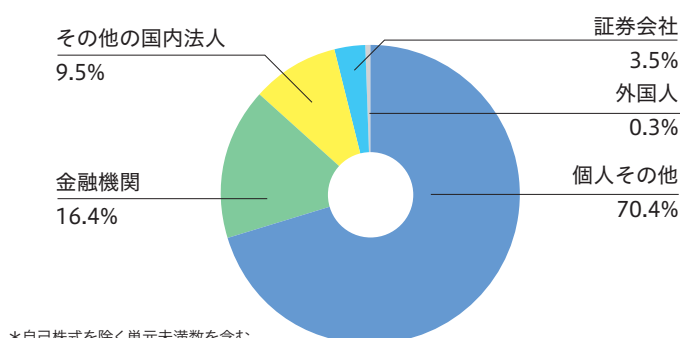


*今期より非連結開示となっております。

株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	8,143,390株
株主数	7,586名

株式の分布状況



*自己株式を除く単元未満数を含む

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
木村 正輝	1,088	13.7
木村 有仁	694	8.7
木村 愛理	383	4.8
(株)千葉銀行	298	3.7
(株)東京都民銀行	298	3.7
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	248	3.1
(株)TGホールディング	200	2.5
(学)早稲田大学	200	2.5
片岡 文子	163	2.0
東洋合成工業社員持株会	142	1.8

当社は、自己株式を205千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。また、持株比率は自己株式(205千株)を控除して計算しております。

会社の概要

(平成27年3月31日現在)

商号	東洋合成工業株式会社
本店所在地	千葉県市川市上妙典1603番地
本社及び営業部門	東京都台東区浅草橋1丁目22番16号 ヒューリック浅草橋ビル8階
設立	昭和29年9月27日
資本金	1,618,888,703円
従業員	511名
事業内容	感光性材料、電子表示機器の材料などの開発・製造・販売 電池材料、電気二重層材料などの研究開発・製造・販売 感光性樹脂の研究開発、応用品の製造・販売 化学機械・装置の設計・製作・設置工事 上記物品の輸出・輸入及び倉庫業
事業所	市川工場、千葉工場、香料工場、淡路工場、高浜油槽所、感光材研究所、西日本営業所
関係会社	TG Finetech Inc.

役員

(平成27年6月26日現在)

取締役会長	木村 正輝	監査役	萩原 正一**
代表取締役社長	木村 有仁		宮崎 誠**
取締役	出来 彰		本間 達三**
	渡辺 宏一		
	森 寧		
	坂間 好展		*社外取締役
	鳥井 宗朝*		**社外監査役

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当の基準日	3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日 ※その他必要がある場合は、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.toyogosei.co.jp/ir/eprn.html ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 株式の諸手続き	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。 特別口座をご利用の株主様は、みずほ信託銀行株式会社0120-288-324(フリーダイヤル)までお問い合わせください。

当社第65回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されました。

報告事項

第65期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)事業報告及び計算書類の内容報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 定款一部変更の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

<定款変更の内容>

社外役員として優秀な人材を迎えることができるよう、また社外役員が職務の遂行にあたり、期待される役割を十分に発揮できるようにするため、社外役員との間に責任限定契約を締結することができるよう変更をおこないました。

第2号議案 取締役7名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、取締役に木村正輝、木村有仁、出来彰、渡辺宏一、森寧、坂間好展、鳥井宗朝*の7名が選任され、それぞれ就任いたしました。

*は社外取締役

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、監査役に宮崎誠*が選任され、就任いたしました。

*は社外監査役

第4号議案 役員賞与支給の件

本件は、原案のとおり、当期末時点の取締役7名及び監査役3名に対し、当期の業績等を勘案して、役員賞与と総額3,441万円を支給する旨、承認可決されました。併せて各取締役及び各監査役に対する金額は、取締役については取締役会に、監査役については監査役の協議にそれぞれ一任されました。

第5号議案 取締役の報酬額改定の件

本件は、原案のとおり、取締役の報酬額を年額240百万円以内(社外取締役分は30百万円以内)とする旨、承認可決されました。

第6号議案 退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件

本件は、原案のとおり、第65回定時株主総会終結の時をもって、任期満了により退任された取締役島川優氏に対し、在任中の労に報いるため、当社の定める一定の基準に従い、相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈する旨、承認可決されました。併せて具体的な金額、贈呈の時期、方法等は取締役会に一任されました。

第7号議案 監査役に対する退職慰労金制度廃止に伴う打切り支給の件

本件は、原案のとおり、平成27年6月26日をもって監査役の退職慰労金制度を廃止することに伴い、在任中の監査役3名に対し、それぞれの就任時から制度廃止日までの在任中の功労に報いるため、当社における一定の基準に従い、相当額の範囲内で、監査役退任時に退職慰労金を贈呈する旨、承認可決されました。併せて、その具体的な金額、支給の方法等は、監査役の協議に一任されました。

 東洋合成工業株式会社

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1丁目22番16号
ヒューリック浅草橋ビル8階
TEL 03-5822-6170 FAX 03-5822-6189
E-mail : ir@toyogosei.co.jp

